

A・Bエポマー工法

【下水道事業団 防食指針A、B、C、D種 適合】 【厚生労働省：第15号及びJWWA K 143 適合】 【農業集落排水処理施設 適合】



特長

A・Bエポマー工法は、エポキシ樹脂をベースとした上下水道向け塗布型ライニング工法です。上下水道施設、ビルピット、農業集落排水処理施設、工場排水処理施設を対象とする防水・防食工事に対して、要求性能に応じた工法をラインナップしております。

■ 下水道処理施設

- ① C種、D種においても、ガラスクロス、マットを使用せずに（ノンクロス工法）施工が可能のため、工期短縮が図れます。
- ② ブラックライト発色管理工法を採用しており、ピンホール、塗り斑が早期に発見できるため、施工品質が安定します。

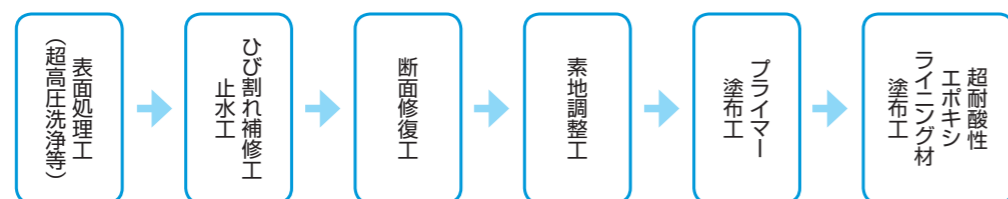
■ 上水道処理施設

- ③ ビスフェノールF型エポキシ樹脂を使用した無溶剤型ライニング材料です。
- ④ 最大1mmの追従性を可能にした弾性素地調整材もラインナップされております。（微細クラック追従工法）

種類

対象構造物	工法概要
下水道処理施設	エポキシ樹脂ライニング（A、B種）、エポキシ樹脂ガラスクロスライニング（補強材積層仕様：C、D種）
	エポキシ樹脂ノンクロスライニング（積層仕様：C、D種）、シートライニング（サンシートS600工法：D種）
ビルピット	エポキシ樹脂ノンクロスライニング（積層仕様）
工場排水処理施設	ビニルエステル樹脂プリプレグシートライニング（補強材積層仕様）
上水道処理施設	エポキシ樹脂ライニング、エポキシ樹脂ガラスクロスライニング（補強材積層仕様）
農業集落排水処理施設	エポキシ樹脂ライニング（1、2種）、エポキシ樹脂ガラスクロスライニング（補強材積層仕様：3種）

施工フロー

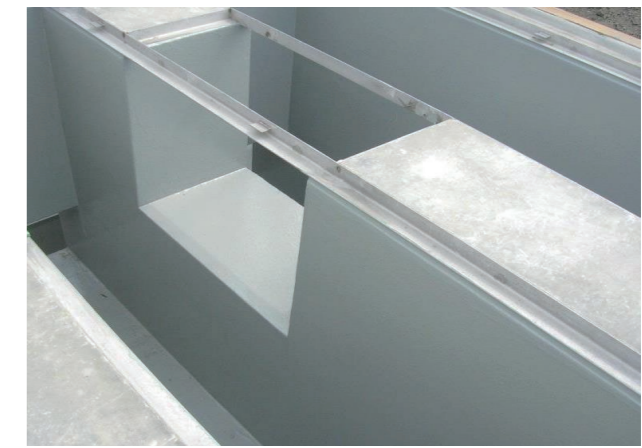


施工事例

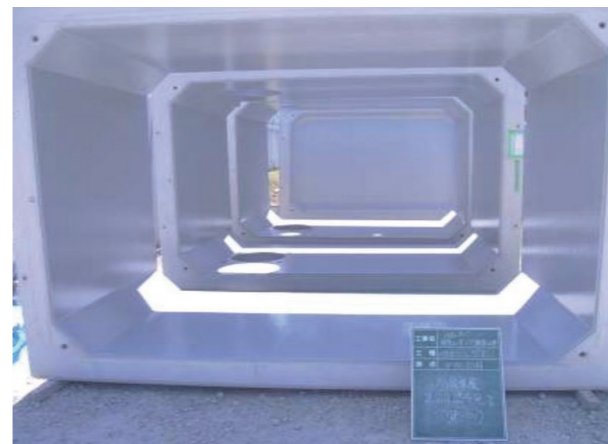
■ 下水用ライニング工法（下水道事業団防食指針適合）



エポマー GW-202-D工法
規格：D種適合工法
（ノンクロス仕様）



エポマー GW--A工法
規格：A種適合工法



エポマー GW-B工法
規格：B種適合工法
（2次製品使用例）



シートライニング工法
規格：D種適合工法
（サンシートS600工法）

■ その他防食ライニングシステム



上水用ライニング工法
（エポマー P-800）



工場排水処理施設（薬液槽等）
（エポマー GP-303/VE-200）



農業集落排水処理施設
（エポマー NW）

表面補修

目地補修

表面防食

防火水槽

道路橋

熱水洗浄

汚れ防止

施設点検

その他

新材料

表面補修

目地補修

表面防食

防火水槽

道路橋

熱水洗浄

汚れ防止

施設点検

その他

新材料